

国立精神・神経医療センター病院にて 身体リハビリテーション科を受診された方へ

このたび、国立精神・神経医療センター病院 身体リハビリテーション科で受診した際の診療情報等の一部について、下記の研究に対し提供を行います。この研究では、国が定めた倫理指針に基づき、対象となる方お一人ずつから直接同意をいただくかわりに、利用目的等を含む研究の実施について、情報を公開いたします。

この研究に対し診療情報等を利用することにより、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ございませんが、ご自身の診療情報等を利用・提供して欲しくない場合は、問い合わせ窓口までご連絡ください。なお、利用・提供してほしくないと申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはございません。

1. 対象となる方

2017年08月01日より2025年10月20日までの間、神経内科にてパーキンソン病および類縁疾患（例：多系統萎縮症、進行性核上性麻痺など）の姿勢改善目的に入院（MADI 入院）された方

2. 試料情報の提供のみを行う者の機関名・所属・氏名

機関名：国立精神・神経医療センター病院

所属・氏名：身体リハビリテーション部 鈴木一平

3. 試料・情報を提供する研究課題名と研究代表者又は研究責任者

研究課題名：パーキンソン病および類縁疾患における姿勢改善プログラムの臨床効果の後方視的検討

研究期間：倫理審査承認・研究実施許可受領日から2030年03月31日まで

研究代表者（研究責任者）：国立精神・神経医療センター病院 鈴木一平

4. 利用又は提供する試料・情報等と取得方法について

試料：該当なし

（取得方法）

情報等：

- ・基本属性（年齢、性別、診断名、罹病期間、治療経過）
- ・立位姿勢写真データ（正面・側面画像）
- ・重心動揺検査データ（重心可動域、IPS）
- ・歩行解析データ（歩行速度、歩幅、荷重率、ケイデンス）

- ・視覚的身体垂直位 (SPV)
- ・MDS-UPDRS スコア
- ・筋緊張評価所見

(取得方法) 診療録から入手

—

5. 試料・情報の利用目的及び利用方法

姿勢写真などに含まれる個人を特定できるデータは、パスワード保護された研究専用パソコンに保存して、厳密に身体リハビリテーション部内で管理し、外部への持ち出しなどはありません。

提供を希望された際には、研究計画に従い、診療情報等の個人情報加工処理を行った上で、対象となる方の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたうえで取り扱います。

6. 利用又は提供を開始する予定日

研究実施許可日より研究開始日を予定しています。

7. 研究への情報利用を希望されない場合について

本研究での情報利用をご希望されない場合は、下記の問い合わせ窓口までご連絡ください。

お申し出のあった場合には、対象となる方の診療情報を本研究の解析対象から除外いたします。

研究への協力を辞退されても、診療や治療において不利益を受けることは一切ありません。

8. 問い合わせ窓口

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下記問い合わせ担当者までお問い合わせください。

機関名：国立精神・神経医療センター病院

所属：身体リハビリテーション部 氏名：鈴木 一平

電話番号：042-341-2711（内線：3832）

e-mail：suzuki-ippei@ncnp.go.jp